

2020 年入学

学 生 募 集 要 項

博士前期課程 **春学期入学者選抜試験**

博士前期課程 **秋学期入学者選抜試験**

先 端 科 学 技 術 研 究 科

■2020 年春学期入学者選抜試験第 1 回—第 3 回

■2020 年秋学期入学者選抜試験第 1 回



奈良先端科学技術大学院大学

<http://www.naist.jp/>

目 次

《奈良先端科学技術大学院大学の教育方針》

《アドミッション・ポリシー》

○博士前期課程 2020 年入学者選抜試験

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続等	2
4. 選抜方法等	5
5. 合格者の発表及び入学手続	7
6. 入学時納付金	7
7. 出願資格 (9) (10) の者の資格審査	7
8. 長期履修制度について	8
9. 安全保障輸出管理について	8
10. その他	9
・コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内	10
* 入学願書	
* 受験票・写真票・振込受付証明書	
* 各種通知等受信票	
* 受入内諾書（日本国籍以外の者）	

*** 消費税率の改定が行われた場合には、受験票等送付用封筒等の郵便料金にご注意ください。
料金が不足の場合は、出願不受理となることがあります。**

奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

●目的

奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

●教育使命

NAISTは、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年（1991年）10月に設置されました。NAISTの研究教育分野は、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点を合わせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

●人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

●教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図るとともに、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求めます。特に、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力を持った人、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力を持った人を積極的に受け入れます。

◆入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

1. 募集人員

募集単位	募集人員	試験区分
先端科学技術研究科先端科学技術専攻	350 名 秋学期募集人員若干名を含む。	情報科学区分 (135 名程度)
		バイオサイエンス区分 (125 名程度)
		物質創成科学区分 (90 名程度)

※募集人員には、秋学期募集人員及び高等専門学校推薦選抜募集人員若干名を含みます。

※同一試験回において、複数の試験区分に出願することは出来ません。

2. 出願資格

- (1) 学校教育法第 83 条第 1 項に定める大学を卒業した者及び 2020 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を 2020 年 3 月 31 日までに授与された者及び授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）及び 2020 年 3 月 31 日までに指定した者に該当する見込みの者〔旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- (9) 2020 年 3 月 31 日で大学に 3 年以上在学する者（(1) の該当者を除く。）、又は上記 (3)、(4) 及び (5) において 15 年の課程を修了する者で、所定の単位（〔注〕 2 参照）を優れた成績で修得する見込みの者（〔注〕 3 参照）
- (10) 本学において、個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者（〔注〕 3 参照）

〔注〕 1. 秋学期入学に出願する者は、上記資格 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) の 2020 年 3 月 31 日を 2020 年 9 月 30 日と読み替えてください。

2. 出願資格 (9) の所定の単位とは、「原則として在籍学部・学科の卒業に必要な共通科目（人文・社会・自然科学、外国語、保健体育等）及び 3 年次までに修得すべき専門科目の単位数」とします。

なお、この出願資格で本学に入学した者は、学籍上退学となりますので、大学卒業が要件となっている国家試験などの受験資格はありません。

3. 出願資格 (9) 又は (10) によって出願する者については、事前に資格審査を行いますので、7 頁の「**7. 出願資格 (9) (10) の者の資格審査**」により申請してください。

3. 出願手続等

(1) 出願期間 (出願期間内消印有効)

試験回	出願期間	備考
春学期第1回選抜試験	2019年6月10日(月)～6月12日(水)	2020年秋学期(第2回)募集要項は2020年4月頃に発表する予定。
春学期第2回選抜試験	2019年9月17日(火)～9月19日(木)	
春学期第3回選抜試験 (秋学期第1回選抜試験)	2020年2月3日(月)～2月5日(水)	

(2) 入学検定料の支払方法

次の①～③のいずれかの方法により入学検定料30,000円をお支払いください。なお、入学検定料の支払いにかかる手数料については、出願者においてご負担願います。

いずれの方法も各試験の出願期間1カ月前よりご利用いただけます。

① 本学所定の「検定料振込依頼書」(C票)による振込

- ・本学所定の「検定料振込依頼書」(C票)により金融機関(ゆうちょ銀行は除く。)の窓口で振り込んでください。
- ・振込後、「振込受付証明書」(A票)を出願書類の所定の箇所に貼付してください。
(A票とB票の2ヶ所に金融機関の収納印が押されていることを必ず確認してください。)

② 銀行ATMによる振込

- ・全ての金融機関で振込可能です(ただし、ゆうちょ銀行からの振込は、ゆうちょ銀行に口座がある方に限られます。)
- ・振込後、ATMから発行される「利用明細書」を出願書類の所定の箇所に貼付してください。
なお、「利用明細書」は、本人控用として必ず写しを取っておいてください(振込について確認させていただく場合に必要となります。)
- ・必ず出願者本人の名前で振り込んでください。また、振込者名の前に必ず「111」を付けてください(例:「111センタントロウ」)。振込者名が出願者本人でない場合及び振込者名の前に「111」の番号が付されていない場合は、本学において入金確認ができないことがあります。その際は、出願が認められませんのでご注意ください。

<振込先> 下記の口座のいずれかに振り込んでください。

銀行名/支店名 口座種別/口座番号	口座名義 (カナ)
南都銀行 登美が丘支店 普通 0210251	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 ダイ) ナラセンタカガクギジュツダイガクインダイガク
三菱UFJ銀行 奈良支店 普通 4554681	

③ コンビニエンスストアの専用端末による払込

- ・払込については、10頁を参照してください。
- ・払込後、「収納証明書」を出願書類の所定の箇所に貼付してください。

なお、国費留学生については、検定料は不要です。また、本学以外の大学に在学している国費留学生は大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。

(3) 出願方法

- 出願書類は一括して、本学所定の封筒、若しくは角形 2 号封筒（33 cm×24 cm）に入れて下記宛先へ書留速達にて郵送又は持参してください。

〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916 番地の 5
奈良先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係

- 郵送の場合は、出願期間内に郵送されたもので、本学に到着した分を受理します（**出願期間内消印有効**）。
- 持参の場合は、出願期間内の 9 時～17 時（12 時～13 時を除く。）に受理します。
- 出願回数に制限はありませんが、出願手続はその都度行う必要があります。
- 出願書類の一部（A1、A2、A8、A11）は本学ホームページ（<http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/>）からダウンロードすることも可能です。必要事項を入力の上、プリントアウトしてください。
なお、「検定料振込依頼書」はダウンロードできませんので、その場合、検定料については、銀行 ATM 又はコンビニエンスストアの専用端末から振り込んでください。

(4) 受験票等の送付

出願書類を受理した後、受験票及び受験者心得を、受験票等送付用封筒（速達）にて選抜期間の 1 週間前までに送付します。

なお、上記の期間までに到着しない場合は、教育支援課入試係〔電話：0743-72-5083〕に問い合わせてください。

(5) 出願書類等

●出願者全員が提出するもの

出願書類等		備 考
A1	入学願書	本学所定の様式。 本学ホームページ（ http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/ ）からダウンロード可。
A2	受験票・写真票	本学所定の様式。 本学ホームページ（ http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/ ）からダウンロード可。
A3	検定料振込を証明する書類 （振込受付証明書/利用明細書/収納証明書等）	「振込受付証明書」は本学ホームページからダウンロードできません。募集要項の冊子入手するか、その他の方法で振り込んでください。 国費留学生については、検定料振込を証明する書類は不要です。 ただし、本学以外の大学に在学している国費留学生は大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
A4	卒業（見込）証明書 ※写し（コピー）不可 ただし Certified true copy は可	出願資格を満たす大学等の卒業（見込）証明書。 外国の大学を卒業した者は学位証明書を提出してください。なお、卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は不要です。 出願資格（9）（10）に該当する者は不要です。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
A5	成績証明書 ※写し（コピー）不可 ただし Certified true copy は可	出願資格を満たす大学等の成績証明書。 なお、編入学等により認定されている科目がある場合又は出願資格（2）の者は、前学校（大学、短期大学、高等専門学校本科等）の成績証明書も併せて提出してください。 出願資格（9）（10）に該当する者は不要です。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

A6	<p>小論文</p> <p>※試験を英語で受験する場合は、小論文は英語で記述すること。</p>	<p>下記の課題について、市販の A4 版用紙 2 枚に記述してください（様式任意。可能な限り Word 等ワープロソフトを使用してください）。</p> <p>「これまでの修学内容（卒業研究等）について」 「本学において取り組みたい研究分野・課題について」</p> <p>※必ず 2 つの課題について記述してください。それぞれの課題の記載分量については、出願者の裁量とします。ただし、両課題併せて 2 枚にまとめてください（1 枚は不可）。</p> <p><作成にあたっての留意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2 枚とも必ず「試験区分」・「氏名」を記入してください。 2. 「現在の専門」と「希望の研究室」があればその研究室名を「氏名」の下に記述してください。2 枚とも必ず記入してください。 3. ホッチキス等で綴じないでください。 4. カラー印刷不可（複写されることを前提に作成してください）。 5. 片面のみに記述すること。和文・英文いずれも可。 6. 図表を使うことも可。 7. 図表等をすべて含めて 2 枚にまとめてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">記入例</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>試験区分：情報科学区分 氏名：○○○ ○○○ 現在の専門：○○○○ 希望研究室：○○研究室</p> </div> <p>「物質創成科学区分出願者用」のテンプレートは本学ホームページ (http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/) にあります。参考してください。</p>
A7	TOEIC 等のスコア	<p>TOEIC のスコアの<u>原本とコピー</u>を出願書類に同封し提出してください。原本とコピーを照合の後、後日、原本をお返しします。</p> <p>なお、出願書類と一緒に同封することが難しい場合は、試験当日、<u>原本とコピー</u>を持参し受付で提示し、コピーのみ提出してください。受付で原本とコピーの照合を行います。</p> <p>また出願書類に同封し提出済みの場合で、別の受験回のスコアを試験当日に持参して提出することも可とします。</p> <p>なお、TOEFL、Duolingo English Test、IELTS、GEPT 又は CAMBRIDGE のスコアの提出も認めます。その場合も<u>原本とコピー</u>を提出してください。</p> <p>Duolingo English Test のスコアを提出予定の方は事前に入試係 (exam@ad.naist.jp) までご連絡ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><使用できる TOEIC 及び TOEFL のスコアの種類></p> <p>TOEIC：「Listening & Reading」もしくは「Speaking & Writing Test」の公開テストの公式認定証又は IP テストの個人成績表</p> <p>TOEFL：TOEFL iBT，PBT 又は ITP の Examinee's Score Record</p> </div> <p>2016 年 4 月以降に実施されたテストのスコアのみ有効です。</p> <p>なお、TOEIC 等のスコアの提出がない場合、面接を受けることはできますが、英語の得点は 0 点となります。</p> <p>スコアの後日提出は一切認めません。</p>

A8	各種通知等受信票	本学所定の様式。必要事項を記入してください。 本学ホームページ (http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/) からダウンロード可。
A9	受験票等送付用封筒	本学所定の封筒若しくは長形3号封筒(24cm×12cm)に372円の切手を貼り、住所・氏名を明記し、必ず朱書きで「速達」と記入してください。

●以下の〈 〉内以示す条件に該当する者のみ提出するもの
〈出願資格(2)に該当する者〉

出願書類等		備 考
A10	学士の学位授与(申請予定・申請受理)証明書 ※写し(コピー)不可	大学改革支援・学位授与機構、当該短期大学長又は高等専門学校長のいずれかが証明したもの。

〈日本国籍以外の者で、入学に際して「留学ビザ」を取得する必要がある者〉

出願書類等		備 考
A11	受入内諾書	本学所定の様式、先端科学技術研究科研究室責任者(教授等)によって発行されたもの。英語または日本語によるものとする。 本学ホームページ (http://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/) からダウンロード可。 ※1: 出願者は出願期間の1ヶ月前までに研究室責任者(教授等)に連絡し、受入内諾書の発行を受けること。 ※2: 受入内諾書の発行にあたっては、希望研究室を熟考し、複数の研究室責任者(教授等)に依頼を行わないよう注意してください。 ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

〈企業等から派遣される場合(有職者で入学後退職しない場合を含む。〉)

出願書類等		備 考
A12	出願承認書	様式任意。企業等から派遣されることが明示されているもので、しかるべき責任者が作成したもの。

※上記書類が提出できない場合は、その旨を記述した理由書を提出してください(様式任意)。

(6) 出願に際しての注意事項

- ・身体等に障害があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に教育支援課入試係〔電話: 0743-72-5083、E-mail: exam@ad.naist.jp〕に相談してください。
- ・出願書類等に不備がある場合は、原則として受理しませんので、十分注意してください。出願前に提出用封筒裏面の出願書類チェック表で内容物を確認願います。また、出願後は原則として記載事項の変更を認めません。
- ・出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。また、入学決定後であっても、入学の許可を取り消すことがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等及び入学検定料は返還できません。

4. 選抜方法等

(1) 試験実施方法

情報科学区分

試験は、面接により下記のとおり1人30分程度日本語又は英語(入学願書にて受験言語を選択)により行います。

①試験当日に提示する資料〔数学（代数、解析等）〕に関する口頭試問。

[数学出題範囲]

代数：下記の Chapter 1 から Chapter 7 まで。

Gilbert Strang, Introduction to Linear Algebra, Wellesley-Cambridge Press

日本語訳：G. ストラング, 線形代数イントロダクション, 近代科学社

解析：下記の Part I から Part IV まで。

Serge Lang, A First Course in Calculus, Springer

日本語訳：S. ラング, 解析入門, 岩波書店

②提出された小論文及び出身専攻分野を考慮した情報科学関連の質問。提出された小論文に関して、3分以内でプレゼンテーションをしていただきますので、事前に準備しておいてください。ただし、機器は用いず、口頭のみとします。

バイオサイエンス区分

試験は、面接により下記のとおり 1 人 20 分程度日本語又は英語（入学願書にて受験言語を選択）により行います。

①提出された小論文等に基づく専門知識に関する口頭試問。

②バイオサイエンス関連の基礎知識に関する口頭試問。

生物系学部で一般に使われている教科書や参考書の内容をもとに、細胞生物学、分子生物学、生化学に関連した問題を出題します。面接の直前に別室で問題を解き、面接の冒頭に口頭で解答します。

物質創成科学区分

試験は、面接により下記のとおり 1 人 20 分程度日本語又は英語（入学願書にて受験言語を選択）により行います。

①提出された小論文に基づき、5 分間口述発表を行います。

②小論文及び発表に基づき、出身専攻分野を考慮した物質科学関連の口頭試問を 15 分程度行います。

資料の持込みは不可。ホワイトボードのみ使用できます。

(2) 採点・評価基準

基礎学力、研究に対する意欲、潜在的な研究能力を総合的に評価します。

(3) 合否判定基準

面接（小論文を含む。）の結果、成績証明書及び TOEIC 等のスコア等を総合判断し、合格者を決定します。

(4) 選抜期間及び場所

試験回に対応して、次に定める期間のうち本学が指定した 1 日に選抜を行います。

なお、選抜期間中どうしても受験できない日を指定することができます。ただし、出願状況により意に添えない場合があります（東京会場を指定した場合でも、受験場所が本学になる場合があります。）。

試験回	場所	選抜期間	試験実施時間
春学期第 1 回選抜試験	東京会場	2019 年 7 月 8 日（月）	9 時～19 時
	本学	2019 年 7 月 10 日（水）～7 月 13 日（土）	
春学期第 2 回選抜試験	本学のみ	2019 年 10 月 15 日（火）～10 月 17 日（木）	
春学期第 3 回選抜試験 （秋学期第 1 回選抜試験）	本学のみ	2020 年 3 月 4 日（水）	

※東京会場：AP 品川（東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 9F・10F）

- ・受験者個々の実施場所・日時の詳細については、受験票送付時にお知らせします。
- ・春学期第 1 回選抜試験については、台風等の不測の事態により選抜期間内での試験実施が困難となった場合、予備日（7 月 15 日（月・祝））に本学にて試験を実施する場合があります。

5. 合格者の発表及び入学手続

試験回	合格発表日	入学手続日
春学期第1回選抜試験	2019年7月19日(金)	2020年2月下旬
春学期第2回選抜試験	2019年10月23日(水)	
春学期第3回選抜試験	2020年3月9日(月)	2020年3月下旬
秋学期第1回選抜試験		2020年9月下旬

合格発表日の午前10時(予定)から本学事務局玄関横掲示板に掲示するとともに、本学ホームページ(<http://www.naist.jp/>)でも合格発表をします。

なお、掲示・インターネットでの確認が不可能な場合は、合格発表日に合格者受験番号一覧を速達で送付しますので、住所、氏名を記入した長形3号封筒(24cm×12cm)(362円切手貼付)を出願書類に同封してください。

※出願資格(9)に該当する者

出願資格(9)に該当し、3年次末までに所定の単位を優秀な成績で修得していることを合格の条件とされた者は、仮合格者として上記合格発表日に発表します。

その後、3年次末までの成績証明書を2020年3月13日(金)16時までに教育支援課へ提出してください。この証明書により、合格の条件を満たすことを確認した上で、2020年3月16日(月)に改めて合格者として通知します。

この場合の入学手続日は、2020年3月下旬となります。

秋学期入学に出願する者で、3年次末までの成績証明書を2020年3月13日(金)16時までに教育支援課に提出できない場合は、2020年9月中旬までに提出してください。この場合、仮合格者の合格通知は2020年9月中旬に行います。

6. 入学時納付金

- (1) 入学料 282,000円(予定額)
- (2) 授業料 2020年春学期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)
 - ・入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。
 - ・授業料の納付については、申し出により春学期分の納付の際に秋学期分も併せて納付できます。

7. 出願資格(9)(10)の者の資格審査

出願資格審査申請期限(期限必着)

春学期第1回選抜試験	春学期第2回選抜試験	春学期第3回選抜試験 秋学期第1回選抜試験
2019年5月10日(金)	2019年8月13日(火)	2019年12月27日(金)

①出願資格(9)に該当する者

提出書類	備 考
出願資格審査申請書	本学所定の用紙(用紙は教育支援課へ請求してください。)
成績証明書 ※写し(コピー)不可 ただしCertified true copyは可	出願資格を満たす大学等の成績証明書。 なお、現在履修している科目が成績証明書に記載されていない場合は、現在履修している科目がわかる書類を併せて提出してください。 また、編入学等により認定されている科目がある場合、前学校(大学、短期大学等)の成績証明書も併せて提出してください。

	日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
在学証明書 ※写し（コピー）不可 ただし Certified true copy は可	様式任意。当該大学の学長又は学部長が発行したもの。
授業科目の学年配当表等の 写し	出願者の在学する大学当該学部学科 1 年次から 3 年次までの授業科目名、 配当学年、単位数、必修選択の別、4 年次への進級条件及び卒業要件の記載 されているものの写し。
講義要目等の写し	授業科目学年配当表等の写しに記載されている科目の講義内容を説明して いる部分の写し。
審査結果通知用封筒	長形 3 号封筒（24 cm×12 cm）に 362 円切手を貼付し、住所・氏名を明記 し、朱書きで「速達」と記入してください。

②出願資格（10）に該当する者

提出書類	備 考
出願資格審査申請書	本学所定の用紙（用紙は教育支援課へ請求してください。）。
最終学歴卒業証明書 ※写し（コピー）不可 ただし Certified true copy は可	日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
最終学歴成績証明書 ※写し（コピー）不可 ただし Certified true copy は可	当該学校が作成したもの。 日本語以外の場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。
各種免許証等参考になると 思われる書類の写し	（例）資格証明書、技能検定認定証明書、英語検定認定証明書、取得特許・ ソフトウェア開発説明書、研究歴の証明書
審査結果通知用封筒	長形 3 号封筒（24 cm×12 cm）に 362 円切手を貼付し、住所・氏名を明記 し、朱書きで「速達」と記入してください。

なお、審査の結果は出願期間までに通知します。

8. 長期履修制度について

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）で修了することが困難な者が、2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを入学時に申請し、大学がこれを認めた場合、2年間の授業料で2年を超えて在学できる制度です。

2年間の授業料の合計金額を長期履修期間として認められた年数で除した額が年間授業料となります。ただし、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

なお、詳細については以下の URL を参照してください。

<http://www.naist.jp/campuslife/gakumu/long-term.html>

また、申請希望者はあらかじめ教育支援課学務係〔電話：0743-72-5932〕までご連絡ください。

9. 安全保障輸出管理について

本学では、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することがないように「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので、留意してください。

なお、詳細については以下の URL を参照してください。

http://www.naist.jp/research/security_trade.html

10. その他

- (1) 納付した検定料及び提出書類は、いかなる理由があっても返還できません。
- (2) 受験のための宿泊施設は各自で確保してください。
- (3) 台風等の不測の事態により指定された集合時間に間に合わない場合は、集合時間までに教育支援課入試係〔電話：0743-72-5083〕にご連絡ください。なお、連絡がない場合は欠席扱いになります。
- (4) 入学手続の状況により、合格者の追加を行うことがあります。
- (5) 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき、提出された個人情報（出願書類への記載内容及び試験成績）については、以下の目的の場合に使用し、当該目的以外には使用しません。
 - ・ 入学者選抜に係る業務（追跡調査を含む。）
 - ・ 研究室配属時の参考資料
 - ・ 奨学金の貸与及び学生宿舍の入居を申請した者にあつては、それぞれの選考時の参考資料
- (6) 学生募集要項等に関し不明な点がある場合は、下記へ照会してください。

〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916 番地の 5 奈良先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係 電話：0743-72-5083 FAX：0743-72-5014 E-mail：exam@ad.naist.jp
